

教えて 学んで 楽しもう

学びのトレジャー

Vol.5

2024年2月9日

日本のことを知る

静岡聖光学院中学校
鈴木 洋介 先生

開隆堂教科書サンシャイン1年生のProgram4に「Let's Enjoy Japanese Culture」というテーマで書道と百人一首について書かれています。本文p.56でDanielが墨汁についてMaoに尋ねるシーンがあり、Maoは It's ink. It can save time. と答えています。確かにその通りの答えです。生徒に尋ねたところ墨汁ではなく「墨」を使ったことがある生徒はわずか数名でした。最近の日本人は本来の日本文化の意味や由来を知らないケースが増えているように思います。

英語はグローバル社会でも必要なツールとしての言語ではありますが、もっと大事なことは日本人としてのアイデンティティをもち、自国に誇りをもつことだと思います。そうしなければ海外では通用しません。そこでまず日本語で自分が興味のある日本文化についてとことん調べ、調べたことをA4一枚に英語でまとめ、海外からのお客様にお渡ししました。「やまと言葉、アニメ、日本食、鹿威し(ししおどし)、日本庭園、神社、祝詞等」実にいろいろな文化について調べてくれました。

日本文化

稲を植える月	サツキ (五月)
田に植える苗	サナエ
植える女性	サオトメ
祭り	サノボリ



やまと (大和) 言葉

古代日本人が大切にしていたメッセージがある

調べ学習を進めて行く中での視点は「海外の人だったらどのようなことが気になるのか」ということを意識させました。どの生徒においても素晴らしい内容でしたが、何よりも終わってからの感想が「日本のことをより深く理解できてよかった」「なぜ日本が世界で一番長く続いている国なのが理解できた」等、日本に対する肯定的な気持ちをもつことができました。



大事なことは「自国についてまず知ること」だと思います。知ることには愛の始まりです。海外では自国の文化、歴史を愛する教育が施されています。だからこそ、生徒たちが世界でも活躍できるようになるためには、海外の生徒たちのように、今、住んでいる日本について理解を深めることが大事だと思います。

今回の活動を通して、生徒たちの日本への想いがより深くなり、日本のことをより好きになることができました。このようなきっかけを与えてくれた題材にとっても感謝しています。

開隆堂